

文化振興条例に基づき県が講じた施策の実施状況について

1 歴史文化資源の継承と活用に関する基本的施策

(1) 地域住民の誇りの醸成等

事業名	実施状況	担当課名	
「飛鳥・藤原」魅力発信事業	<p>「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録に向け、構成資産の価値や魅力を、先端技術により可視化した映像を制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「現代に蘇る飛鳥宮」 ・「飛鳥宮への誘い」 	文化・教育 ・くらし創造部	文化資源活用課
世界遺産ジャーナル制作事業	<p>県内既登録の3資産と世界遺産の仕組みや価値を発信し、県内外だけでなく、国外も含めた登録への機運醸成を図るため、「世界遺産ジャーナル」第2号（英語版）・第3号（日本語・英語版）・第4号（日本語版）を発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行時期：令和3年8月（第2号英語版）、令和3年10月（第3号日本語版）、令和4年1月（第3号英語版）、令和4年3月（第4号日本語版） ・発行部数：日本語版各20,000部、英語版各6,000部 ・内 容：特集記事、世界遺産解説、「飛鳥・藤原」紹介 	文化・教育 ・くらし創造部	文化資源活用課
世界遺産登録推進事業	<p>世界遺産暫定一覧表に記載された「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録実現に向け、県、橿原市、桜井市、明日香村で構成する世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会において登録推進に向けた取組を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦書作成準備事業 ・講演会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 内容：「飛鳥・藤原」登録への歩みとその価値 時期：令和3年10月16日（土） 場所：橿原文化会館 350名参加 ・啓発ブース出展 <ul style="list-style-type: none"> 内容：飛鳥まるごとフェアへの「飛鳥・藤原」出展 時期：令和3年7月2日（金）～4日（日） 場所：イオンモール橿原 	文化・教育 ・くらし創造部	文化資源活用課
世界遺産保存管理事業	<p>世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」3県協議会（奈良県・三重県・和歌山県）の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：総会1回、専門委員会1回、行政担当者会議1回 ・開催内容：整備や追加登録等にかかる協議、保全活動等について情報交換 	文化・教育 ・くらし創造部	文化資源活用課
「なら記紀・万葉プロジェクト」推進事業	<p>令和3（2021）年は聖徳太子没後1400年の記念年であることから、聖徳太子をテーマとした講座等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聖徳太子リレー講座 <ul style="list-style-type: none"> 開催回数：全5回 参加者数：延べ874人 ・首都圏講座 <ul style="list-style-type: none"> 開催時期：令和4年1月15日、令和4年1月16日 参加者数：46人、66人 ・ファイナーレイアウト <ul style="list-style-type: none"> 開催時期：令和4年2月19日 参加者数：100人 	文化・教育 ・くらし創造部	文化資源活用課

事業名	実施状況	担当課名	
史跡等整備活用補助金	市町村が実施する国指定史跡等文化財の積極的な活用につながる整備活用、土地買い上げ等、学術発掘調査に対し補助 ・採択数：11件	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課
文化資源活用補助金	未指定文化財を含む地域の歴史文化資源を活用した地域振興に資する取組（保存・修理、活用のための整備、普及啓発のための情報発信）に対し補助 ・採択数：32件	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課

(2) 文化財の修復、公開等に対する支援

事業名	実施状況	担当課名	
文化財公開・解説運営事業	文化財修復の意義、文化財を守り未来へ受け継ぐことの大切さについて、理解を深め、新たな価値を発見できるよう、なら歴史芸術文化村において学芸員等とともに館内をめぐる修復工房見学ツアーを開催 ・開催日：毎日開催（休館日を除く）	文化・教育・くらし創造部	なら歴史芸術文化村整備推進室（なら歴史芸術文化村）
史跡等整備活用補助金（再掲）	市町村が実施する国指定史跡等文化財の積極的な活用につながる整備活用、土地買い上げ等、学術発掘調査に対し補助 ・採択数：11件	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課
文化資源活用補助金（再掲）	未指定文化財を含む地域の歴史文化資源を活用した地域振興に資する取組（保存・修理、活用のための整備、普及啓発のための情報発信）に対し補助 ・採択数：32件	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課
滞在型観光推進事業	秘宝・秘仏特別開帳情報等を掲載した「祈りの回廊」パンフレットを発行し、観光案内所、主要な鉄道駅、イベントでの配布等により発信 ・発行回数：2回 ・発行部数：各10万部 「祈りの回廊」ホームページで秘宝・秘仏特別開帳情報や特集内容を発信	観光局	観光プロモーション課
朱雀門ライトアップ設備維持管理事業	観光振興に資するため、朱雀門を通年でライトアップし、光のスポットとして演出	地域デザイン推進局	平城宮跡事業推進室

事業名	実施状況	担当課名	
文化財保存事業費補助金	国指定及び県指定文化財等の保存、修理買取等に関する補助 ・採択数：国指定建造物の保存修理等 15件 国指定美術工芸品の保存修理等 20件 史跡地の公有化 7件 等	文化・教育 ・くらし創造部	文化財保存課
一日文化財保安官委嘱式	文化財の管理者や県民の文化財保護意識の高揚を図るため、「文化財保護強調週間」に併せて、県内大学の学生2名を一日文化財保安官に委嘱 ・県内社寺を訪問し、文化財の防犯に関する確認及び助言を実施	警察本部	生活安全企画課
埋蔵文化財保存・活用事業	文化財の保存活用のための保存科学分析機器を購入し、展示・保存環境の計測を実施 令和4年度開催予定の「ポンペイ展」（朝日新聞社主催）に関連するフォーラムの実施内容を検討	文化・教育 ・くらし創造部	文化資源活用課 （榑原考古学研究所企画課）

(3) 交流の促進

事業名	実施状況	担当課名	
古代歴史文化に関する共同研究事業（第2期）	古代歴史文化の調査・研究に関心のある各県が、これまでの研究成果を基礎に、連携して調査研究を進めることにより、日本全体としての大きな古代史の流れの解明に取り組み、全国に歴史文化情報を発信 ・研究集会の開催 開催回数：2回（島根県・佐賀県） ・公開講演会（岡山県で無観客開催）のWeb配信	文化・教育 ・くらし創造部	文化資源活用課 （榑原考古学研究所企画課）
「古代歴史文化賞」連携事業	首都圏において「古代歴史文化賞」の受賞を記念したシンポジウム（古代歴史文化賞受賞者による基調講演、パネルディスカッション等）の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止	文化・教育 ・くらし創造部	文化資源活用課
奈良の仏像等海外展示および情報発信事業	アフター・コロナを見据えた展覧会開催を目指し、作品リストの交渉、開催協定の締結に向けた検討を実施	文化・教育 ・くらし創造部	文化資源活用課
国際考古学研究交流事業	中国・韓国の考古学の文化拠点との交流を予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、相互の研究者派遣を中止	文化・教育 ・くらし創造部	文化資源活用課 （榑原考古学研究所企画課）

事業名	実施状況	担当課名	
敦煌研究院との研究連携検討事業	橿原考古学研究所のさらなる認知度向上、人材育成の強化のため、中国の国家一級博物館である敦煌研究院との研究連携や成果発表を予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、中国への渡航を中止	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 (橿原考古学研究所企画課)
国際文化交流事業	海外との文化交流を通じた現代の考古学における発掘調査・遺物整理保存技術等の研究を予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、韓国との相互研修派遣を中止	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 (橿原考古学研究所企画課)

(4) 歴史文化資源の継承及び活用に関する活動の促進

事業名	実施状況	担当課名	
開村記念イベント開催事業	<p>なら歴史芸術文化村開村のPRと開村後の誘客を図るため、開村イベントを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開村セレモニーの開催 開催日：令和4年3月21日 参加者数：134人 (Youtube配信も実施) ・トークイベント、ステージパフォーマンス等 開催日：令和4年3月22日～3月27日 参加者数：277人 (Youtube配信も実施) ・ステージパフォーマンス 開催日：令和4年3月21日 参加者数：40人 	文化・教育・くらし創造部	なら歴史芸術文化村整備推進室 (なら歴史芸術文化村)
文化財公開・解説運営事業 (再掲)	<p>文化財修復の意義、文化財を守り未来へ受け継ぐことの大切さについて、理解を深め、新たな価値を発見できるよう、なら歴史芸術文化村において学芸員等とともに館内をめぐる修復工房見学ツアーを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：毎日開催 (休館日を除く) 	文化・教育・くらし創造部	なら歴史芸術文化村整備推進室 (なら歴史芸術文化村)
展示室催事運営事業	<p>なら歴史芸術文化村が立地している“山の辺の道”周辺地域の歴史文化資源を通して、文化財や地域の魅力を伝え、文化財の価値だけでなく保存・活用の意義を伝えることをテーマとした開村記念特別展「やまのべの文化財」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間：令和4年3月21日～4月17日 ・入場者数：28,423人 ・講演、ワークショップ参加者数：143人 	文化・教育・くらし創造部	なら歴史芸術文化村整備推進室 (なら歴史芸術文化村)

事業名	実施状況	担当課名	
奈良県立橿原考古学研究所附属博物館特別展の開催	考古学に対する県民、国民の理解を深める機会とするために開催する、令和4年度春季特別展の企画、準備を実施	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 (橿原考古学研究所附属博物館)
万葉集等古代文化に関する調査研究事業	『万葉集』やこれらに関連する古代文化に関する調査研究を行うとともに、それらに親しむ場を提供 ・万葉集を読み解く連続講座 開催回数：全12回 参加者数：のべ約1,000人 ・万葉古代学講座等 開催回数：全6回 参加者数：のべ約600人 ・研究の集大成として年報を発行	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 (万葉文化館)
万葉文化館広報宣伝事業	万葉集を中心とした古代文化の魅力を多様なイベント等を通じて発信するとともに、地域の方に親しみや愛着をもってもらえるよう、季節ごとににぎわいを創出するイベントを開催 ・にぎわいフェスタ万葉（春・夏・秋・冬） 開催時期：令和3年4月10日～6月27日、 7月22日～8月29日、 9月15日～11月23日、 令和4年1月8日～3月13日 参加者数：6,634人	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 (万葉文化館)
万葉文化館展覧会開催事業	視覚による万葉集（万葉日本画）の普及、また日本の伝統技法に培われた日本画への理解を深めるとともに、優れた芸術の鑑賞機会を提供 ・開催催事数：6催 ・総日数：268日間 ・総観覧者数：約16,000人	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 (万葉文化館)
民俗博物館企画展開催事業	民俗博物館本館での企画展、スポット展の開催 ・企画展：雨降る季節のくらしと言葉 奈良のくらしを支えたものづくり ひなまつり展 ・スポット展：2催 ・総観覧者数：16,955人 古民家を会場とした写真展、ひなまつり展の開催 ・開催回数：2催 ・総観覧者数：8,090人	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 (民俗博物館)

事業名	実施状況	担当課名	
図書館情報館資料整備事業	<p>県民の多種多様な資料要求に迅速に対応するため、資料を収集、整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規資料整備：約9,700冊 ・インバウンド関連図書の整備：約480冊 記紀万葉プロジェクト関連図書 日本の著名な作家の外国語翻訳本 世界的ベストセラー 等 	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課（図書館情報館）
佐保川周辺のにぎわい創出事業	<p>佐保川沿いの生涯学習拠点として、コンサートや中高年層をターゲットとした学び直し講座を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館学校の開催 第1期：全9講座 参加者数計376人参加＋Live配信 第2期：全9講座 参加者数計452人参加 ・マルシェの開催 開催時期：令和3年4月3日～令和3年4月4日 参加者数：約1,000人 ・企画展示の開催 鼎談 持統天皇を語る 令和3年11月3日 参加者数：61人 国栖奏を語る 令和3年11月20日 参加人数：55人 	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課（図書館情報館）
図書館劇場事業	<p>奈良の歴史と文化を探る千田稔館長による公開講座「図書館劇場」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：6回（聖徳太子5回、高松塚古墳1回） ・参加者数：412人 	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課（図書館情報館）
平城宮跡内イベント展開事業	<p>平城宮跡でのにぎわいを創出するため、魅力あるイベントを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋季イベント 「みつぎうまし祭り～平城京天平祭・秋」 開催時期：令和3年11月20日、21日 内 容：衛士隊の再現、花の展示、平城宮跡スタンプラリー、物販等 来場者数：約21,000人 <p>※春季イベント「平城京天平祭・春」、夏季イベント「天平たなばた祭り～平城京天平祭・夏」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止</p>	地域デザイン推進局	平城宮跡事業推進室
平城宮跡の利活用推進事業	<p>「朱雀門ひろば」の管理運営 歴史体験学習館におけるコンテンツ・建築に関する計画の検討 歴史公園南側地区における公園整備に向けた整備方針・導入機能等の検討 公園内の便益施設における民間活力導入検討調査の実施</p>	地域デザイン推進局	平城宮跡事業推進室

事業名	実施状況	担当課名	
同和問題関係史料センター事業	関係史料の調査 ・調査史料数：35,000点 ・収集史料数：7,500点 研究紀要第26号を刊行 県民歴史講座を開催 ・参加者数：190人	教育委員会事務局	人権・地域教育課 (同和問題関係史料センター)
「なら記紀・万葉プロジェクト」推進事業 (再掲)	令和3(2021)年は聖徳太子没後1400年の記念年であることから、聖徳太子をテーマとした講座等を実施 ・聖徳太子リレー講座 開催回数：全5回 参加者数：延べ874人 ・首都圏講座 開催時期：令和4年1月15日、令和4年1月16日 参加者数：46人、66人 ・フィナーレイベント 開催時期：令和4年2月19日 参加者数：100人	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課
記紀を学ぶこども塾	小学生が楽しみながら『古事記』『日本書紀』に親しめるよう、参加体験型の講座を開催 ・開催回数：2回 ・参加者数：38人	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課
奈良県日本博関連事業	「日本遺産を巡る奈良博覧会プロジェクト」をテーマに、国内外に本県の文化資源を発信 ・法隆寺地域の仏教建造物 聖徳太子没後1400年記念イベントの開催 (令和3年11月6日～11月7日) 図書情報館イベントの開催 翁舞(令和3年10月17日) 能「翁」(令和4年1月29日) 遺跡紹介プログラム ・古都奈良の文化財 菊人形展 (令和3年10月30日～11月7日) ・紀伊山地の霊場と参詣道 講演会、ウォークイベントの開催 ・飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群 高松塚古墳壁画発見50周年記念事業 発掘現場・修理現場の公開を実施 ・飛鳥京跡苑池発掘調査現場 (令和3年12月4日～12月5日) ・民俗博物館古民家修理現場 (令和3年11月13日～11月14日)	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課

事業名	実施状況	担当課名	
文化観光推進事業	文化庁の「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業」を活用し、文化観光の拠点となる文化施設を対象に、多言語化等による展示解説の向上、トイレのバリアフリー化等を実施 「いかす・なら地域協議会」において、奈良の社寺と連携し、「知られざる文化財継承の裏側」に関する動画を作成 大和四寺（長谷寺、室生寺、岡寺、安倍文殊院）と連携し、社寺やその周辺の見所をストーリーに紐付けて紹介するコンテンツを制作し、SNS等により国内外へ発信	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課
文化財活用発信事業	室生埋蔵文化財収蔵センターを活用し、多様な歴史的視点（考古学・文献・美術工芸・建造物・民俗）から県南部東部地域の歴史文化を学ぶ場として、宇陀文化財講座を開催 ・開催回数：2回 ・参加者数：令和3年10月30日 16名 令和4年 3月19日 27名	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課 (榎原考古学研究所企画課)

(5) 人材の育成等

事業名	実施状況	担当課名	
文化財修復人材養成事業	なら歴史芸術文化村において文化財建造物修復を行う技術者を養成する講師を対象とした講習を開催 ・開催時期：令和4年3月26日 ・参加者数：9人	文化・教育・くらし創造部	文化財保存課 (なら歴史芸術文化村)
文化資源保護国際協力事業	アジア太平洋地域の文化財保護協力の国内拠点として、さまざまな保護協力事業を実施しているユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所へ助成 ・インターネットによる情報発信 ・機関誌「文化遺産ニュース」の発行（2022年3月） ・パンフレットの発行（2022年3月） ・世界遺産教室：県内高校4校で開催 参加者数：第1回 225名 第2回 36名 第3回 5名 第4回 23名 ・文化遺産セミナー 開催時期：令和4年1月23日 参加者数：212人	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課
文化財”体感”事業	文化財の修理・修復を体験できる建造物修復現場インターンシップを実施 ・参加校、インターン先、参加者数 奈良朱雀高等学校（法隆寺出張所） 5人 奈良朱雀高等学校（榎原神宮出張所） 31人 高等技術専門校（榎原神宮出張所） 10人	文化・教育・くらし創造部	文化財保存課

事業名	実施状況	担当課名	
全国高校生歴史フォーラム開催事業	<p>高校生を対象に歴史地理関連のレポートを募集し、奈良大学との共催により、優秀者が発表するフォーラムを開催</p> <p>・開催日：令和3年11月3日 ・参加者数：30人 （一般観覧は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止）</p>	文化・教育 ・くらし創造部	文化資源活用課

(6) 歴史文化資源の把握等

事業名	実施状況	担当課名	
文化資源データ構築事業	<p>歴史文化資源の総合的・積極的な発信により、奈良県内外の方々の「文化資源と触れる動機付け」、「文化資源に対する価値意識の醸成」につなげるため、データベース及びホームページを運用</p>	文化・教育 ・くらし創造部	文化資源活用課
奈良史料編纂事業	<p>奈良に関する古文書等の史料編纂により、奈良の歴史文化の魅力資料面から裏打ちするとともに県民にわかりやすく伝えるため、近世の奈良について記述された文書群「芹中漫録」全78巻のうち第17～21巻を翻刻し、『奈良史料叢書 七』として出版</p>	文化・教育 ・くらし創造部	文化資源活用課 （図書情報館）
文化観光推進事業 （再掲）	<p>文化庁の「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業」を活用し、文化観光の拠点となる文化施設を対象に、多言語化等による展示解説の向上、トイレのバリアフリー化等を実施</p> <p>「いかす・なら地域協議会」において、奈良の社寺と連携し、「知られざる文化財継承の裏側」に関する動画を作成</p> <p>大和四寺（長谷寺、室生寺、岡寺、安倍文殊院）と連携し、社寺やその周辺の見所をストーリーに紐付けて紹介するコンテンツを制作し、SNS等により国内外へ発信</p>	文化・教育 ・くらし創造部	文化資源活用課
滞在型観光推進事業 （再掲）	<p>秘宝・秘仏特別開帳情報等を掲載した「祈りの回廊」パンフレットを発行し、観光案内所、主要な鉄道駅、イベントでの配布等により発信</p> <p>・発行回数：2回 ・発行部数：各10万部</p> <p>「祈りの回廊」ホームページで秘宝・秘仏特別開帳情報や特集内容を発信</p>	観光局	観光プロモーション課

事業名	実施状況	担当課名	
広報・プロモーション事業	<p>令和4年3月のなら歴史芸術文化村の開村に向け、PRツールの作成配布やプロモーション活動を展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット、ポスター、横断幕、動画等 ・広報ツールを作成・配布 ・タイアップ広告やSNS投稿による効果的なプロモーション活動を実施 	文化・教育・くらし創造部	なら歴史芸術文化村整備推進室（なら歴史芸術文化村）
奈良県観光キャンペーン事業	<p>聖徳太子没後1400年をキャンペーンの核と位置づけ、鉄道事業者と連携した広報宣伝や旅行博への出展、聖徳太子ゆかりの地周遊キャンペーン、聖徳太子と日本芸能発祥のエピソードにちなんだ文化芸術イベント等のプロモーションを展開</p>	観光局	観光プロモーション課
知れば知るほど奈良はおもしろい観光キャンペーン推進事業	<p>「知れば知るほど奈良はおもしろい」実行委員会において、首都圏等からの誘客を促進するため、県全域の観光情報を網羅し、県の魅力や奥深さを伝える奈良県総合ガイドブックの作成やデジタル媒体での発信及びアドバイザー業務、マーケティング研修等を実施</p>	観光局	観光プロモーション課
うまし奈良めぐり推進事業	<p>宿泊者数の減少する時期（夏・冬）に、独自性のある商品企画（夏31企画、冬33企画（うちオンラインツアー2企画））を旅行会社へ提供</p>	観光局	観光プロモーション課
奈良まほろば館情報発信事業	<p>奈良への誘客を促すイベントや講座等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬師寺に関するオンライントークの開催 開催時期：令和3年5月2日 参加者数：121名 ・河合町の古墳に関するオンライントークの開催 開催時期：令和3年6月6日 参加者数：108名 ・長谷寺に関するオンライントークの開催 開催時期：令和3年6月27日 参加者数：120名 	観光局	観光プロモーション課（奈良まほろば館）
新拠点情報発信強化事業	<p>新橋へ移転後のまほろば館において、奈良への誘客を促すイベントや講座等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道テーマのオンライントークイベントの開催 開催時期：令和3年9月26日 参加者数：約200人 ・奈良のそうめんをテーマにしたオンライントークイベントの開催 開催時期：令和3年10月10日 参加者数：約100人 ・奈良のお正月郷土料理おもてなしイベントの開催 開催時期：令和4年1月上旬 参加者数：約60名以上 ・いちごのクッキングイベントの開催 開催時期：令和4年2月13日 参加者数：10名 ・奈良の絶景イベント 開催時期：令和4年3月23日 参加者数：26名 ・奈良のお花イベント 開催時期：令和4年3月26日 参加者数：30名 <p style="text-align: right;">ほか</p>	観光局	観光プロモーション課（奈良まほろば館）

事業名	実施状況	担当課名	
外国人観光客誘致戦略 開拓キャンペーン事業 新市場	アフターコロナのインバウンド需要回復を見据えた市場別誘客 プロモーションを展開 ・中華圏市場 コーディネーター等と連携し、 現地旅行会社へのセールス活動等を実施 ・欧米豪市場 インスタグラムで奈良の持つ魅力 （歴史・文化）に関する情報発信を実施	観光局	観光プロモーション課

2 文化活動の振興に関する基本的施策

(1) 地域における文化活動に対する支援等

事業名	実施状況	担当課名	
県内文化団体つなぐイベント推進事業	<p>県内文化団体又は市町村が実施するイベントのうち、県内複数地域で実施又は県内複数団体が連携して実施するイベントに対し補助</p> <ul style="list-style-type: none"> 採択数：8件 	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
ムジークフェストなら開催事業	<p>文化芸術活動の活性化を図るとともに誘客を促進するため、全国から高い注目を集める音楽祭を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催期間：令和3年5月15日～6月6日 開催概要：県内18市町村63会場、113公演 動画視聴回数：47,921回 <p>※新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、実行委員会主催コンサートについては無観客開催</p>	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
奈良県大芸術祭・奈良県障害者大芸術祭開催事業	<p>奈良の芸術文化の振興を図るため、「奈良県大芸術祭」「奈良県障害者大芸術祭」を一体化した「奈良県みんなでのしむ大芸術祭」を開催</p> <p>「文化の力で奈良を元気に！」をテーマに幅広いジャンルの芸術文化イベント（509イベント）を県内各地で展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催期間：令和3年9月～11月 イベント数：509イベント 来場者数：約31万人 	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
文化会館整備事業	文化会館のリニューアル工事にかかる基本設計を完了	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
アーティストインレジデンス開催事業	奥大和地域にアーティスト、職人を呼び込むとともに、住民参加型のイベントを企画する予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止	知事公室	奥大和移住・交流推進室
映像を活用した奥大和魅力発信事業	川上村を舞台にした映画「（仮題）霧の淵」の制作に対して支援	知事公室	奥大和移住・交流推進室

(2) 伝統芸能等の継承、発展及び保存に対する支援等

事業名	実施状況	担当課名	
奈良県日本博関連事業 (再掲)	<p>「日本遺産を巡る奈良博覧会プロジェクト」をテーマに、国内外に本県の文化資源を発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法隆寺地域の仏教建造物 聖徳太子没後1400年記念イベントの開催 (令和3年11月6日～11月7日) ・図書情報館イベントの開催 翁舞(令和3年10月17日) 能「翁」(令和4年1月29日) ・遺跡紹介プログラム ・古都奈良の文化財 菊人形展 (令和3年10月30日～11月7日) ・紀伊山地の霊場と参詣道 講演会、ウォークイベントの開催 ・飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群 高松塚古墳壁画発見50周年記念事業 <p>発掘現場・修理現場の公開を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛鳥京跡苑池発掘調査現場 (令和3年12月4日～12月5日) ・民俗博物館古民家修理現場 (令和3年11月13日～11月14日) 	文化・教育 ・くらし創 造部	文化資源活用課
民俗博物館企画展開催事業 (再掲)	<p>民俗博物館本館での企画展、スポット展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展：雨降る季節のくらしと言葉 奈良のくらしを支えたものづくり ひなまつり展 ・スポット展：2催 ・総観覧者数：16,955人 <p>古民家を会場とした写真展、ひなまつり展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：2催 ・総観覧者数：8,090人 	文化・教育 ・くらし創 造部	文化資源活用課 (民俗博物館)
古民家活用イベント実施事業	<p>県民との協働により、文化財の活用と一層の魅力発信を図るため、民俗博物館公園内に移築復原展示されている古民家を会場にしたコンサートや朗読会等のイベントを公募し、応募者の運営により開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント数：16件 ・イベント総参加者数：632人 	文化・教育 ・くらし創 造部	文化資源活用課 (民俗博物館)
大立山まつり	<p>本県の魅力ある地域文化の発信と本県への宿泊誘客促進を図るため、県内各地の伝統行事の披露やグルメと特産品の販売等を核としたイベントを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、会場開催を中止し、オンライン開催に変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間：令和4年1月22日～1月23日 ・開催内容：シンポジウムやトークショー、 伝統行事の披露等をライブ配信 	観光局	ならの観光力向上課 (奈良県コンベンションセンター)
観光事業の保護育成事業	<p>本県の観光地ブランド力及び観光客誘客に寄与していると認められる地域の伝統行事等に対し補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助実績 2件 	観光局	ならの観光力向上課

(3) 交流の促進

事業名	実施状況	担当課名	
多文化共生・国際化推進事業	<p>将来の多文化共生や国際化推進を担う国際感覚豊かな人材の育成を図るため、県内の高等学校等において、外務省職員、国際交流・国際協力団体職員等を講師とした講座を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催校：9校 ・開催内容：諸外国との国際交流、異文化コミュニケーション等 ・参加者数：約830人 	知事公室	国際課
中国陝西省・韓国忠清南道との友好提携10周年記念事業	<p>本県と中国陝西省との友好提携10周年を記念したイベントの開催や、韓国忠清南道で開催された「第67回百済文化祭」への本県と忠清南道との交流等を紹介するブース出展等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国陝西省との記念イベント 開催時期：令和3年11月20日 来場者数：約150人 ・韓国忠清南道で開催されたイベントへの出展 開催時期：令和3年9月25日～10月3日 来場者数：約2,300人（ブース来場者） 	知事公室	国際課
ガストロノミーツーリズム推進事業	<p>「食」と「農」の魅力創造と発信により地域の交流人口増を図り、地域の活性化と持続性のあるガストロノミーツーリズムを推進するための取組を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UNWTOガストロノミーツーリズム世界フォーラム（奈良県開催）実施計画の策定 ・第6回UNWTOガストロノミーツーリズム世界フォーラム（ベルギー大会）において県主催レセプションの開催 参加者数：約160人 ・ガストロノミーツーリズム国際シンポジウム2022の開催 参加者数：392人 	観光局	MICE推進室
国際交流員の派遣事業	<p>国際化の推進及び国際理解の促進を目的として、県内市町村、学校、国際交流団体等の実施する国際交流や国際理解に関する講座・イベントに講師（国際交流員）を派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座・イベント数：12件 ・総参加者数：661人 	知事公室	国際課 （外国人支援センター）
アーティスト誘致・交流事業	<p>実行委員会を立ち上げ、令和4年度に公募する滞在アーティスト誘致に向けて募集要項を策定</p>	文化・教育・くらし創造部	なら歴史芸術文化村整備推進室 （なら歴史芸術文化村）

事業名	実施状況	担当課名	
アーティストインレジデンス開催事業 (再掲)	奥大和地域にアーティスト、職人を呼び込むとともに、住民参加型のイベントを企画する予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止	知事公室	奥大和移住・交流推進室
奥大和地域誘客促進事業	奥大和地域をエリアとして、自然に包まれながらアート作品を鑑賞・体験してもらうことで、奥大和地域の魅力を再発見してもらう関係人口創出型の芸術祭「MIND TRAIL 奥大和 ところの中の美術館」を吉野町、天川村、曾爾村にて開催 <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間：令和3年10月9日～11月28日 ・マップのアプリダウンロード数：1,500回 ・紙マップの配布数：約20,000枚 	知事公室	奥大和移住・交流推進室

(4) 県民の文化活動の充実

事業名	実施状況	担当課名	
ムジークフェストなら開催事業 (再掲)	文化芸術活動の活性化を図るとともに誘客を促進するため、全国から高い注目を集める音楽祭を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間：令和3年5月15日～6月6日 ・開催概要：県内18市町村63会場、113公演 ・動画視聴回数：47,921回 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、実行委員会主催コンサートについては無観客開催	文化・教育 ・くらし創造部	文化振興課
奈良県大芸術祭・奈良県障害者大芸術祭開催事業 (再掲)	奈良の芸術文化の振興を図るため、「奈良県大芸術祭」「奈良県障害者大芸術祭」を一体化した「奈良県みんなでのしむ大芸術祭」を開催 「文化の力で奈良を元気に！」をテーマに幅広いジャンルの芸術文化イベント（509イベント）を県内各地で展開 <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間：令和3年9月～11月 ・イベント数：509イベント ・来場者数：約31万人 	文化・教育 ・くらし創造部	文化振興課

事業名	実施状況	担当課名	
奈良県美術展覧会開催事業	<p>文化活動の発表の場として、日本画・洋画・彫刻・工芸・書芸・写真の6部門を一般公募する「第72回奈良県美術展覧会」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募数：711件 ・開催期間：令和3年10月29日～11月2日 	文化・教育・くらし創造部	文化振興課（文化会館）
奈良県ジュニア美術展覧会開催事業	<p>県内の青少年の美術活動の充実と振興を図ることを目的とした「第48回奈良県ジュニア美術展覧会」を開催し、次世代を担う青少年の成果発表の場を提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募数：635件 ・開催期間：令和3年9月12日～19日 	文化・教育・くらし創造部	文化振興課（文化会館）
文化会館整備事業（再掲）	文化会館のリニューアル工事にかかる基本設計を完了	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
開村記念イベント開催事業（再掲）	<p>なら歴史芸術文化村開村のPRと開村後の誘客を図るため、開村イベントを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開村セレモニーの開催 開催日：令和4年3月21日 参加者数：134人（Youtube配信も実施） ・トークイベント、ステージパフォーマンス等 開催日：令和4年3月22日～3月27日 参加者数：277人（Youtube配信も実施） ・ステージパフォーマンス 開催日：令和4年3月21日 参加者数：40人 	文化・教育・くらし創造部	なら歴史芸術文化村整備推進室（なら歴史芸術文化村）
幼児向けアートプログラム運営事業	<p>神経系の発達が著しい幼児期に、個々の感性を生かした「遊び」を通じたアート（お絵かきや粘土など）を体験してもらうことにより、自尊感情（豊かな感性と表現等）を養うなど、豊かな人間性を育むプログラムを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験型ワークショップ 開催時期：令和3年10月16日 参加者数：42人 ・講演会 開催時期：令和3年10月17日 参加者数：83人 ・パネル展示 開催時期：令和3年10月16日～10月17日 参加者数：約1,700人 	文化・教育・くらし創造部	なら歴史芸術文化村整備推進室（なら歴史芸術文化村）

事業名	実施状況	担当課名	
まほろばプロムナードコンサート	<p>県民に良質な芸術に触れられる機会として「第5回まほろばプロムナードコンサート」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和4年1月29日 ・来場者数：1,024人 	文化・教育・くらし創造部	文化振興課（文化会館）
橿原文化会館ホール関係自主事業	<p>中南和における文化発信拠点として、県民に良質な文化芸術を提供するため魅力あるコンサートを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：2回 ・総来場者数：378人 	文化・教育・くらし創造部	文化振興課（橿原文化会館）
県立美術館展覧会の開催事業	<p>特別展の開催（3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生誕130年記念 高島野十郎展」 開催時期：令和3年4月17日～4月30日及び5月27日～29日（特別観覧の機会の提供による3日） ※5月1日～5月31日の間に実施された奈良県緊急対処措置に伴う臨時休館のため会期短縮 来館者数：1,957人 ・「ウィリアム・モリス 原風景でたどるデザインの軌跡」 開催時期：令和3年6月26日～8月29日 来館者数：22,663人 ・「生誕200周年記念 森川杜園展」 開催時期：令和3年9月23日～11月14日 来館者数：8,281人 <p>1階ギャラリーにおいて、団体等と連携した関連展示を開催</p>	文化・教育・くらし創造部	文化振興課（美術館）
奈良の地域資源と伝統美の継承と発展推進事業	<p>企画展「奈良県立美術館所蔵名品展 奈良県美から始める展覧会遊覧」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期：令和4年2月5日～3月27日 ・来館者数：4,846人 <p>1階ギャラリーにおいて、NPO法人との連携展示を開催</p>	文化・教育・くらし創造部	文化振興課（美術館）
佐保川周辺のにぎわい創出事業（再掲）	<p>佐保川沿いの生涯学習拠点として、コンサートや中高年層をターゲットとした学び直し講座を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館学校の開催 第1期 全9講座 参加者数計376人参加+Live配信 第2期 全9講座 参加者数計452人参加 ・マルシェの開催 開催時期：令和3年4月3日～令和3年4月4日 参加者数：約1,000人 ・企画展示の開催 鼎談 持統天皇を語る 令和3年11月3日 参加者数：61人 国栖奏を語る 令和3年11月20日 参加人数：55人 	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課（図書情報館）

事業名	実施状況	担当課名	
まちなみ資産と芸術を活用したまちづくり推進事業	<p>歴史的な町並みと芸術を活用した創造的なイベント「奈良・町家の芸術祭はならあと」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間：令和3年10月22日～2月28日（延べ開催日数：25日） ・開催エリア：天理、宇陀松山、桜井・戒重、橿原・八木 ・開催テーマ：地球に優しいエコロジカルな芸術祭 ・総来場者数：約9,600人 	地域デザイン推進局	まちづくり連携推進課
奥大和地域誘客促進事業（再掲）	<p>奥大和地域をエリアとして、自然に包まれながらアート作品を鑑賞・体験してもらうことで、奥大和地域の魅力を再発見してもらう関係人口創出型の芸術祭「MIND TRAIL 奥大和 こころの中の美術館」を吉野町、天川村、曾爾村にて開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間：令和3年10月9日～11月28日 ・マップのアプリダウンロード数：1,500回 ・紙マップの配布数：約20,000枚 	知事 公室	奥大和移住・交流推進室
アーティスト誘致・交流事業（再掲）	<p>実行委員会を立ち上げ、令和4年度に公募する滞在アーティスト誘致に向けて募集要項を策定</p>	文化・教育・くらし創造部	なら歴史芸術文化村整備推進室（なら歴史芸術文化村）
えんがわ音楽祭開催事業	<p>天川村洞川地区の温泉街を活用し、旅館えんがわでの音楽祭を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止</p>	知事 公室	奥大和移住・交流推進室
食と農の賑わい創出事業	<p>なら歴史芸術文化村やN A F I Cを核とした山の辺の道周辺地域の賑わいを創出するため、体験プログラムを実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン配信「"酒造り発祥" 桜井市の酒造を徹底ガイド」（令和3年11月9日 参加者数:30名） ・柿収穫・渋抜き・干し柿づくり体験（令和3年11月14日 参加者数:18名） ・柿ジャムづくり体験（令和3年11月20日、参加者数:4名） ・着地ツアー「大豆農家さんの解説付き260年余年の老舗店主に学ぶ味噌づくり体験」（令和4年1月15日、参加者数:15名） ・オンライン配信「山の辺の道に"はじまりの神社"を訪ねて」（令和4年1月21日、参加者数:92名） ・オンライン配信「いちごスイーツに三輪そうめん。山の辺の道LIV Eクッキング」（令和4年1月28日、参加者数:30名） ・着地ツアー「隠れ美古墳・塚平古墳と和爾、布留の古墳群を訪ねて」（令和4年1月29日、参加者数18名） 	食と農の振興部	豊かな食と農の振興課
奈良フードフェスティバル開催事業	<p>奈良の食の魅力を高め、県産食材の活用や食のネットワークの拡充を推進するため、地域の食材や歴史背景などの食の魅力を発掘発信するプロモーション映像の制作に対し補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採択数：2件（奈良市、明日香村） 	食と農の振興部	豊かな食と農の振興課

事業名	実施状況	担当課名	
文化芸術による子どもの育成事業	<p>子どもたちに質の高い芸術文化を鑑賞・体験する機会を確保し、将来の芸術家や観客を育成するため、県内小中学校等を対象に、芸術文化団体による実演、芸術家派遣やワークショップを実施</p> <p>・対象学校数：49校</p>	教育委員会事務局	学校教育課
郷土の伝統、文化、自然等に関する学習充実事業	<p>郷土を愛する態度を養うため、県立高等学校を対象に、郷土の伝統、文化、自然等に関する学習（奈良TIME）、学習研究発表会を実施</p> <p>・対象学校数：31校</p> <p>高等学校向けに「奈良TIME指導事例集」を、小・中学校向けに「郷土の手引き」を作成、配布</p>	教育委員会事務局	学校教育課

(5) 人材の育成等

事業名	実施状況	担当課名	
県立ジュニアオーケストラ10周年記念事業	<p>県立ジュニアオーケストラ結成10年目の節目として、奈良県吹奏楽連盟と連携し、「第11回定期演奏会」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期：令和4年3月13日 ・参加者数：614人 	文化・教育・暮らし創造部	文化振興課
県立ジュニアオーケストラ運営事業	<p>一流の音楽家による指導を通じて、未来のトップアーティストを育成することを目的として創設された「県立ジュニアオーケストラ」の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンサート等の開催回数：6回 ・団員数：37名 	文化・教育・暮らし創造部	文化振興課
奈良県美術展覧会開催事業（再掲）	<p>文化活動の発表の場として、日本画・洋画・彫刻・工芸・書芸・写真の6部門を一般公募する「第72回奈良県美術展覧会」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募数：711件 ・開催期間：令和3年10月29日～11月2日 	文化・教育・暮らし創造部	文化振興課（文化会館）
奈良県ジュニア美術展覧会開催事業（再掲）	<p>県内の青少年の美術活動の充実と振興を図ることを目的とした「第48回奈良県ジュニア美術展覧会」を開催し、次世代を担う青少年の成果発表の場を提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募数：635件 ・開催期間：令和3年9月12日～19日 	文化・教育・暮らし創造部	文化振興課（文化会館）
文化芸術による子どもの育成事業（再掲）	<p>子どもたちに質の高い芸術文化を鑑賞・体験する機会を確保し、将来の芸術家や観客を育成するため、県内小中学校等を対象に、芸術文化団体による実演、芸術家派遣やワークショップを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象学校数：49校 	教育委員会事務局	学校教育課
郷土の伝統、文化、自然等に関する学習充実事業（再掲）	<p>郷土を愛する態度を養うため、県立高等学校を対象に、郷土の伝統、文化、自然等に関する学習（奈良TIME）、学習研究発表会を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象学校数：31校 <p>高等学校向けに「奈良TIME指導事例集」を、小・中学校向けに「郷土の手引き」を作成、配布</p>	教育委員会事務局	学校教育課
文化会館整備事業（再掲）	文化会館のリニューアル工事にかかる基本設計を完了	文化・教育・暮らし創造部	文化振興課

(6) 情報の収集及び発信

事業名	実施状況	担当課名	
文化観光推進事業 (再掲)	<p>文化庁の「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業」を活用し、文化観光の拠点となる文化施設を対象に、多言語化等による展示解説の向上、トイレのバリアフリー化等を実施</p> <p>「いかす・なら地域協議会」において、奈良の社寺と連携し、「知られざる文化財継承の裏側」に関する動画を作成</p> <p>大和四寺（長谷寺、室生寺、岡寺、安倍文殊院）と連携し、社寺やその周辺の見所をストーリーに紐付けて紹介するコンテンツを制作し、SNS等により国内外へ発信</p>	文化・教育・暮らし創造部	文化資源活用課
開村記念イベント開催事業 (再掲)	<p>なら歴史芸術文化村開村のPRと開村後の誘客を図るため、開村イベントを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開村セレモニーの開催 開催日：令和4年3月21日 参加者数：134人（Youtube配信も実施） ・トークイベント、ステージパフォーマンス等 開催日：令和4年3月22日～3月27日 参加者数：277人（Youtube配信も実施） ・ステージパフォーマンス 開催日：令和4年3月21日 参加者数：40人 	文化・教育・暮らし創造部	なら歴史芸術文化村整備推進室 (なら歴史芸術文化村)
広報・プロモーション事業 (再掲)	<p>令和4年3月のなら歴史芸術文化村の開村に向け、PRツールの作成配布やプロモーション活動を展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット、ポスター、横断幕、動画等 広報ツールを作成・配布 ・タイアップ広告やSNS投稿による効果的なプロモーション活動を実施 	文化・教育・暮らし創造部	なら歴史芸術文化村整備推進室 (なら歴史芸術文化村)
万葉文化館広報宣伝事業 (再掲)	<p>万葉集を中心とした古代文化の魅力を多様なイベント等を通じて発信するとともに、地域の方に親しみや愛着をもってもらえるよう、季節ごとににぎわいを創出するイベントを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にぎわいフェスタ万葉（春・夏・秋・冬） 開催時期：令和3年4月10日～6月27日、 7月22日～8月29日、 9月15日～11月23日、 令和4年1月8日～3月13日 参加者数：6,634人 	文化・教育・暮らし創造部	文化資源活用課 (万葉文化館)

事業名	実施状況	担当課名	
文化情報発信強化事業	文化会館の前庭に設置した大型看板を活用し、県の文化イベント（県立美術館実施の4展覧会、ミュージックフェストなら及び奈良県みんなでのしむ大芸術祭）等の情報を発信	文化・教育・くらし創造部	文化振興課（美術館）
奈良県観光キャンペーン事業（再掲）	聖徳太子没後1400年をキャンペーンの核と位置づけ、鉄道事業者と連携した広報宣伝や旅行博への出展、聖徳太子ゆかりの地周遊キャンペーン、聖徳太子と日本芸能発祥のエピソードにちなんだ文化芸術イベント等のプロモーションを展開	観光局	観光プロモーション課
知れば知るほど奈良はおもしろい観光キャンペーン推進事業（再掲）	「知れば知るほど奈良はおもしろい」実行委員会において、首都圏等からの誘客を促進するため、県全域の観光情報を網羅し、県の魅力や奥深さを伝える奈良県総合ガイドブックの作成やデジタル媒体での発信及びアドバイザー業務、マーケティング研修等を実施	観光局	観光プロモーション課
うまし奈良めぐり推進事業（再掲）	宿泊者数の減少する時期（夏・冬）に、独自性のある商品企画（夏31企画、冬33企画（うちオンラインツアー2企画））を旅行会社へ提供	観光局	観光プロモーション課
奈良まほろば館情報発信事業（再掲）	<p>奈良への誘客を促すイベントや講座等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬師寺に関するオンライントークの開催 開催時期：令和3年5月2日 参加者数：121名 ・河合町の古墳に関するオンライントークの開催 開催時期：令和3年6月6日 参加者数：108名 ・長谷寺に関するオンライントークの開催 開催時期：令和3年6月27日 参加者数：120名 	観光局	観光プロモーション課（奈良まほろば館）
新拠点情報発信強化事業（再掲）	<p>新橋へ移転後のまほろば館において、奈良への誘客を促すイベントや講座等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道テーマのオンライントークイベントの開催 開催時期：令和3年9月26日 参加者数：約200人 ・奈良のそうめんをテーマにしたオンライントークイベントの開催 開催時期：令和3年10月10日 参加者数：約100人 ・奈良のお正月郷土料理おもてなしイベントの開催 開催時期：令和4年1月上旬 参加者数：約60名以上 ・いちごのクッキングイベントの開催 開催時期：令和4年2月13日 参加者数：10名 ・奈良の絶景イベント 開催時期：令和4年3月23日 参加者数：26名 ・奈良のお花イベント 開催時期：令和4年3月26日 参加者数：30名 <p style="text-align: right;">ほか</p>	観光局	観光プロモーション課（奈良まほろば館）

事業名	実施状況	担当課名	
外国人観光客誘致戦略 新市場 開拓キャンペーン事業 (再掲)	アフターコロナのインバウンド需要回復を見据えた市場別誘客 プロモーションを展開 ・中華圏市場 コーディネーター等と連携し、 現地旅行会社へのセールス活動等を実施 ・欧米豪市場 インスタグラムで奈良の持つ魅力 (歴史・文化)に関する情報発信を実施	観光局	観光プロモーション課

3 文化振興関連施設の活用の促進

事業名	実施状況	担当課名	
開村記念イベント開催事業 (再掲)	なら歴史芸術文化村開村のPRと開村後の誘客を図るため、開 村イベントを開催 ・開村セレモニーの開催 開催日：令和4年3月21日 参加者数：134人 (Youtube配信も実施) ・トークイベント、ステージパフォーマンス等 開催日：令和4年3月22日～3月27日 参加者数：277人 (Youtube配信も実施) ・ステージパフォーマンス 開催日：令和4年3月21日 参加者数：40人	文化・教育・くらし 創造部	なら歴史芸術文化村整備推進室 (なら歴史芸術文化村)
万葉文化館広報宣伝事業 (再掲)	万葉集を中心とした古代文化の魅力を多様なイベント等を通じ て発信するとともに、地域の方に親しみや愛着をもってもらえ るよう、季節ごとににぎわいを創出するイベントを開催 ・にぎわいフェスタ万葉 (春・夏・秋・冬) 開催時期：令和3年4月10日～6月27日、 7月22日～8月29日、 9月15日～11月23日、 令和4年1月8日～3月13日 参加者数：6,634人	文化・教育・くらし 創造部	文化資源活用課 (万葉文化館)
古民家活用イベント実施事業 (再掲)	県民との協働により、文化財の活用と一層の魅力発信を図るた め、民俗博物館公園内に移築復原展示されている古民家を会場 にしたコンサートや朗読会等のイベントを公募し、応募者の運 営により開催 ・イベント数：16件 ・イベント総参加者数：632人	文化・教育・くらし 創造部	文化資源活用課 (民俗博物館)

事業名	実施状況	担当課名	
佐保川周辺のにぎわい創出事業 (再掲)	<p>佐保川沿いの生涯学習拠点として、コンサートや中高年層をターゲットとした学び直し講座を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館学校の開催 第1期：全9講座 参加者数計376人参加+Live配信 第2期：全9講座 参加者数計452人参加 ・マルシェの開催 開催時期：令和3年4月3日～令和3年4月4日 参加者数：約1,000人 ・企画展示の開催 鼎談 持統天皇を語る 令和3年11月 3日 参加者数：61人 国栖奏を語る 令和3年11月20日 参加人数：55人 	文化・教育・暮らし 創造部	文化資源活用課 (図書情報館)
奈良公園内における文化の展示 力向上検討事業	美術館を含む文化施設を活用した奈良公園の周遊のあり方及び 展示力を向上する方策等を検討	文化・教育・暮らし 創造部	文化振興課
文化会館整備事業 (再掲)	文化会館のリニューアル工事にかかる基本設計を完了	文化・教育・暮らし 創造部	文化振興課
平城宮跡の利活用推進事業 (再掲)	<p>「朱雀門ひろば」の管理運営 歴史体験学習館におけるコンテンツ・建築に関する計画の検討 歴史公園南側地区における公園整備に向けた整備方針・導入機能 等の検討 公園内の便益施設における民間活力導入検討調査の実施</p>	地域デザイン 推進局	平城宮跡事業推 進室
文化観光推進事業 (再掲)	<p>文化庁の「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光 推進事業」を活用し、文化観光の拠点となる文化施設を対象 に、多言語化等による展示解説の向上、トイレのバリアフリー 化等を実施</p> <p>「いかす・なら地域協議会」において、奈良の社寺と連携し、 「知られざる文化財継承の裏側」に関する動画を作成</p> <p>大和四寺（長谷寺、室生寺、岡寺、安倍文殊院）と連携し、社 寺やその周辺の見所をストーリーに紐付けて紹介するコンテン ツを制作し、SNS等により国内外へ発信</p>	文化・教育・暮らし 創造部	文化資源活用課

文化振興関連施設一覧

施設名	施設概要	部局名	課室名
なら歴史芸術文化村	歴史文化資源の活用及び芸術文化活動の振興により心豊かな県民生活の実現に資するとともに、観光、産業等の分野と連携した施策の実施により地域振興に寄与する施設である。施設の運営や活用について委員会等で意見聴取を行い、活用促進を図る。	文化・教育・くらし創造部	なら歴史芸術文化村整備推進室
文化会館	ホール、展示室、貸し会議室の3つの機能を持ち、県民の文化活動の拠点となる文化施設。奈良公園のエントランスに位置し、県庁周辺の賑わいを創出する。	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
橿原文化会館	ホール、展示室、貸し会議室の3つの機能を持ち、中南和の文化拠点として橿原市に立地する文化施設。駅からのアクセスも良く、県内どこからでも訪れやすい。	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
県立美術館	県内で唯一、中近世から現代美術までを扱う美術館であり、県輩出の人間国宝富本憲吉の作品も数多く所蔵している。また、近鉄奈良駅から徒歩圏内に立地し、利便性にも富んだ施設である。	文化・教育・くらし創造部	文化振興課
橿原考古学研究所附属博物館	日本発祥の地「奈良」の歴史を展示紹介する博物館で、歴史教育施設、観光施設とその役割は多い。国宝、重要文化財をはじめとする貴重な文化財を多数所蔵する。近鉄歌傍御陵前駅から徒歩5分。近鉄橿原神宮前駅から徒歩15分と交通アクセスも良く利便性に富んだ施設。	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課
奈良県コンベンションセンター	最大2,000名収容可能なコンベンションホールを有する県内最大の会議場。大小様々な14の会議室や大屋根付き屋外多目的広場「天平広場」、階段型座席の劇場空間「天平ホール」など様々な催事の開催が可能。地上・地下駐車場、バスターミナル、飲食物販機能を持つ観光振興施設(奈良 蔦屋書店)からなる複合交流施設。	観光局	MICE推進室
奈良春日野国際フォーラム(能楽ホール)	緑豊かな奈良公園に位置するコンベンション施設であり、能楽発祥の地にふさわしい本格的な能舞台をもつ能楽ホールでは、伝統芸能だけでなく国際会議や学術会議等多目的利用ができるようになっている。	観光局	MICE推進室
天平みつき館・天平うまし館・天平みはらし館・天平つどい館・復原遣唐使船・交通ターミナル駐車場・県営奈良めぐり平城宮跡前自動車駐車場	平城宮跡の往時の広大な空間を体感するとともに、平城宮のかつての姿や人の営みに関する展示や便施設を備えた、平城宮跡の正面玄関として「朱雀門ひろば」を開園(平成30年3月)。 【県営公園区域】 ・天平みつき館(観光案内・物販棟)、天平うまし館(飲食・交流棟)、天平みはらし館(休憩・宮跡展望棟)、天平つどい館(団体集合棟)、復原遣唐使船、交通ターミナル駐車場 <参考> 【国営公園区域】 ・平城宮いざない館、朱雀大路・二条大路 本格的な公園整備に着手するまでの間、平城宮跡南側地区の有効活用を図るため、令和3年10月1日に仮設駐車場として「県営奈良めぐり平城宮跡前自動車駐車場」を供用開始。	地域デザイン推進局	平城宮跡事業推進室
同和問題関係史料センター	県内各地の部落差別に関する歴史的史料の保存及び調査研究を行い、部落差別の解消をめざす取組みを進めるため設置されたもので、平成5年12月オープン。展示室、収蔵庫、研修室、研究室等を有する。	教育委員会	人権・地域教育課
万葉文化館	平成13年に万葉のふるさと・奈良にふさわしい『万葉集』を中心とした古代文化に関する総合文化拠点として開館。日本の古代文化に関する調査・研究機能、万葉に関する文化の振興を図る展示機能、万葉集に関する情報の収集提供を行う図書・情報サービス機能を併せ持っている。	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課
民俗博物館	昭和49年に開館した県立民俗博物館は大和民俗公園内に位置し、奈良のくらしを伝える多種多様な道具を展示。また、広々とした公園内には、県内各地から移築された江戸時代の古民家が建ち並び、四季折々の景色を楽しみながら当時の生活にふれることができる。	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課
図書情報館	平成17年に文化情報の発信基地としての役割を担った県立の総合図書館として設立。収蔵図書は一般書籍をはじめ、奈良の歴史や文化に関する書籍・史料など現在約75万冊の蔵書を誇り、また全国でも珍しい「戦争体験文庫」を有する図書館である。	文化・教育・くらし創造部	文化資源活用課